

2011年6月2日

## タフマン 新テレビCMスタート！

伊東四朗さんが、タフな心を愛するヒーロー“タフマン伊東”として登場  
～「網棚」篇、「善意の連鎖」篇 6月6日から放送開始～

株式会社ヤクルト本社（社長 堀 澄也）では、喜劇役者の伊東四朗さんが出演する「タフマン」のテレビCM「網棚」篇、「善意の連鎖」篇を全国で6月6日（月）から放送します。

「タフマン」は、薬用植物の中でも強壮・強心効果で知られる高麗人参を主体に、各種機能成分や栄養成分を配合した栄養ドリンクです。この度、発売30周年を記念して、内容成分やパッケージをリニューアルしました。

また、個性的なテレビCMで独特の存在感を放ってきた「タフマン」。コミカルな「タフマン」の世界感を長年担ってきた伊東四朗さんが、新テレビCMで8年ぶりに復帰します。



8年ぶりとなる新テレビCMで伊東四朗さんは、タフな心を愛するヒーロー“タフマン伊東”に扮しています。困っている人を見かけたら、放っておけない“タフマン伊東”の奮闘ぶりをおおして、「タフマンとは、肉体的な強さだけではなく精神的な強さ＝“心がタフな人”」であることを「タフマン」らしいコミカルなテイストで伝えていきます。

以上

## TVCMのコンセプト

今回のテレビCMは、“自分のことよりも他者を優先できる心の強さや余裕、逆境でもあきらめない精神的強さ”といった日本人のアイデンティティ（本質）と、「タフマンとは、肉体的な強さだけではなく精神的な強さ＝“心がタフな人”」という「タフマン」のフィロソフィをリンクさせています。

そして、「タフマン」への共感を高めながら、「実は、日本人は誰もがみんなタフマン（心がタフな人）なんだ。だから日本は大丈夫。“あんたがたタフマン”」という日本人への応援メッセージを発信しています。

ターゲット層である中高年サラリーマンに、「伊東四朗」「あんたがたタフマン」「コント仕立てのCM」などのイメージ資産が強く残っているという調査結果を踏まえて、伊東四朗さんの8年ぶりの出演が決まりました。



## TVCMのストーリー

困っている人を見かけたら、放っておけないのが“心のタフ”を愛するヒーロー・タフマン伊東。ヒーロー風の音楽にのって颯爽と登場しても、日本はタフマンの国。いつも誰かが先に、やさしく手を差し伸べてしまいます。出番がないということはみんなが「タフマン」だという証。活躍の機会が減って淋しい気持ちはあるけれど、みんなの「タフマン」っぷりを嬉しく思うタフマン伊東なのでした。

時には助けられてしまうことも！？愛すべきヒーローの活躍をコミカルに描いていきます。

## TVCMの制作エピソード

5月某日、横浜のスタジオ。輝くゴールドのタフマン・メットをかぶって伊東四朗さん、参上！このド派手な登場の瞬間、広いスタジオは久々に復活したタフマン伊東を撮るぞ！という気迫で一瞬の静寂が。コンテでは普通だったセリフが、伊東四朗さんの口からでると笑いがおさえられないほど面白く生まれ変わるから不思議です。

撮影現場でひとときわ輝いていた黄金のスーツは、伊東さんが動きやすいように、事前にたくさんの箇所を採寸してボディラインピッタリに製作された特注品。「70歳を越えてこれを着るのは、日本中でも私だけでしょうね」と伊東さんも苦笑い！？ジャストフィットのスーツが功を奏し、ユーモラスな動きでどんどんテイクを重ねていきました。

2本のCMのうち1本は、電車内が舞台。スタジオに本物の電車を組み立てて撮影しました。エキストラの数は、総勢100人！車内にギュウギュウ詰めのハードな撮影となりました。オチで、伊東さんにグリグリされているサラリーマン役の男性は、なんと当日エキストラの中から急遽選ばれました。理由は、一番背が高かったから！！伊東さんとのやりとりもほとんどがアドリブなのです。伊東さんの熟練の演技と、スタッフの熱い思い、エキストラさんの協力で、CMは現場でどんどん面白いものになっていきました。